

社会福祉法人 真澄児童福祉会
深見台保育園

2019年度 事業計画

社会福祉法人 真澄児童福祉会 深見台保育園 2019年度事業計画

はじめに

毎日の積み重ねを大切にすることを職員間で共有することで、安定した園運営を行うことができました。全ての職員が子どもたちに真摯に向き合うことで、一層の保育の充実を図ることができました。

2019年度は、施設長の変更、新園開所に伴う職員異動ということがありますが、子どもたち、保護者の方に真摯に向き合う今までの姿勢を大切に、そして随所から感じられる深見台保育園の雰囲気大切に、『子ども主体・遊び中心の保育の構築』に引き続き重点を置き、保育の充実をはかります。また、職員の資質向上及び意識改革に努め人材育成に一層取り組んでいきます。

保育理念

- ・一人一人の個性を尊重し、社会の一員として充実した人生を歩む基礎づくりをする
- ・子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む
- ・子どもの最善の利益と福祉の増進

保育目標

- ・よく遊ぶ子ども
- ・仲良く遊べる子ども
- ・自分でできることは自分でする子ども

基本方針

- ・子どもの言動に意味のあることを知り、受け止め、共感する保育をします。
- ・健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだを育つように、愛情と誠意をもった保育をします。
- ・一人一人の成長の芽を大切に、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。
- ・子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い子育ての喜びや楽しさを共感しあえる保育を目指します。
- ・地域育児センターとして関係機関との連携を図り、地域の子育てを支援します。

振り返り

- ・ケガの予防、ケガ発生時の対応において徹底する姿が見られました。
- ・感染症対策は徹底していましたがインフルエンザ、水痘の流行が見られました。
- ・認め合うことは大切だが、全てを良しとするのではなくお互いに高め合える環境になるとなお良いのではないかと感じました。

2019年度 園内目標

『子ども主体・遊び中心の保育の構築』

「子どもの遊びを通した保育」

「自己肯定感を育む保育」

「遊びを中心に基礎力を育む保育」

- ・子どもの思いを受け止めること
- ・子どもの思いを認めること
- ・子どもの思いに寄り添うこと

・職員研修

法人としての理念を明確にし、人材育成の方針及び求められる職員像を明らかにします。法人内で共通した理解の基に保育の質の向上を図り、今後のスムーズな職員異動を行うためにも法人内での人材育成を充実していくことが重要であると位置づけ、年間を通して富士見保育園、佐助保育園との派遣型研修を引き続き行い、さらに内容を深めます。

また、個々の職員が研修で得た知識、技術を園内研修を通して職員全体で共有します。新規採用者の資質及び技術の向上に努めるために、担当者を決めたOJTを積極的に取り入れます。

・一時預かり保育事業（緊急的保育）

一時的に保育が出来ない場合（病気・出産・看護・就労支援・育児不安・リフレッシュ等）の保護者の支援を行います。在園児の状況、職員の数、緊急性など様々な側面からよく検討し、安全に保育を行うことを最優先として、出来る限り保護者のニーズに応え受け入れを行えるように対応します。

・外部受け入れ

※実習生

- ・保育実習生の実習目的（課題）で特に重点を置きたい事項と実習生が学ぶべき事項を体験的に学習できるように実習プログラムを組み立てます。
- ・実習中に重点事項の新たな展開や課題が出てきた場合に対応するため、見直しの機会を設けます。
- ・実習生の指導を通じ、保育士も自らの保育について改めて見つめ直していくことに努めます。
- ・長期的及び短期的な人材育成を見据えたものとします。

※ボランティア・体験学習

様々な世代の方との交流で豊かな体験をすることで、より良い成長が促されることを目的として、ボランティア受け入れ及び体験交流を行います。

①体験交流（体験学習）

- ・対象：小学生・中学生・高校生（大和市内に在住、在学）
 - *原則として学校からの依頼により実施し、個人での申し出があった場合は学校に確認し、受け入れます。
- ・内容：保育見学及び保育体験
運動会や深見台まつり等の行事への参加、体験
小学校との体験交流

②ボランティア

- ・対象：原則として大和市から依頼があった場合に受け入れます。
個人の申し出の場合は園長に確認し、受け入れを検討します。
- ・内容：事前の打ち合わせによるが保育体験や行事への参加

・災害対策

※避難訓練

様々な災害、状況を想定した訓練を行い、災害に関する意識の向上に努め、職員で共通した理解を持つことが必要であると考えています。

- ①月に一度以上の避難訓練及び消火訓練を実施します。
- ②引渡し訓練、防災についての講演会、消防署及び警備会社と連携した避難訓練を行います。
- ③災害用備蓄倉庫の備品の充実を図ると共に、緊急時の対応を現実的に捉え、炊き出しを想定した緊急災害用煮炊釜を使用した調理保育を行います。
- ④災害時、及び緊急時を想定した「メール配信システム」を導入していますが、メール配信システム利用、確認の徹底を図ります。災害時の対応についての啓発活動を深めるだけでなく、感染症予防のお知らせ等にも活用し、利用しやすい環境を整えていくことを考えています。

2019年度 社会福祉法人 真澄児童福祉会 事業計画（案）を提出します。
役員各位によるご審議とご承認を頂いた上で事業の執行にあたりたいと思います。

2019年3月

社会福祉法人 真澄児童福祉会

深見台保育園

理事長 山下 隆

事業の具体的展開

- 4月 入園進級お祝い会 *入園・進級した喜びを味わう
クラス懇談会 ・担任挨拶/自己紹介 ・進級後の様子
・保護者挨拶 ・事務事項
春の遠足 ゆり(5歳児) 歩き遠足(近隣の公園) *友だちとのかかわりを深める
春の遠足 ひまわり(4歳児) 歩き遠足(近隣の公園) *友だちとのかかわりを深める
- 5月 こどもの日のつどい 園庭で行うミニ運動会
*同年齢、異年齢の友達と身体を動かして楽しむ
地域清掃 老人会の方と清掃活動に参加し地域の美化を行う
*子どもたちの地域の美化意識を高める *地域とのかかわりを深める
春の遠足 もも(3歳児) 歩き遠足(近隣の公園) *友だちとのかかわりを深める
歯科検診 年間で2回の実施
健康診断 4回の実施 欠席児については随時、健診に伺う
- 6月 深見台まつり *家族と一緒にまつりに楽しんで参加する *地域との交流を楽しむ
遠足 ゆり(5歳児) 厚木市立こども科学館 電車に乗車しての実施予定
*自然に対する意識を深める *友だちとのかかわりを深める
巡回相談 発達に気になる園児について大和市とカンファレンスを行い保育に活かす
プール開き 安全にプールを行えるように、集会を行う
- 7月 保育参加(5歳児) 栽培して収穫したジャガイモを使い、親子で調理保育を行う
七夕(世代間交流) *地域とのかかわりを楽しむ *伝統行事の風習を知る
保育参加 *親子でのかかわりを楽しむ
- 9月 プールおさめ *安全にプールを終えたことを感謝する *達成感を味わう
誘拐防止教室 *防犯意識を高める
- 10月 運動会 全園児参加で実施 *課題に挑戦し、達成感・充実感を味わう
(雨天時東小学校) *友だちと一緒に身体を動かすことを楽しむ *親子で参加して楽しむ
芋ほり *食物の栽培について知り、収穫を喜ぶ
保育参加・懇談会 *親子で活動を楽しむ

- 11月 焼き芋（世代間交流） * 地域の方と焼き芋を行い、かかわりを深める
 さつまいも作り ゆり（5歳児） * 調理保育を楽しむ
 秋の遠足
 ひまわり（4歳児） 観光バスを利用したの遠足
 ゆり（5歳児） * 秋の雰囲気を楽しむ * 友だちとのかかわりを深める
 秋の遠足
 もも（3歳児） 歩き遠足（近隣の公園）
 * 秋の雰囲気を楽しむ * 友だちとのかかわりを深める
- 12月 お楽しみ会 * 表現活動を楽しむ * 友だちとのかかわりを深め、充実感を味わう
 クリスマス会 * クリスマスの雰囲気を楽しむ * 異年齢とのかかわりを楽しむ
- 1月 餅つき（世代間交流） * 地域の方とのかかわりを深め、伝統行事を楽しむ
 巡回相談 発達が気になる園児について大和市とカンファレンスを行い保育に活かす
 引渡し訓練 * 園児及び家庭での防災意識を高める
- 2月 豆まき * 伝統行事を楽しむ
 アートフェス * 他施設の様子を知り、興味を広げる
 おみせやさんごっこ * 異年齢とのかかわりを楽しむ * 疑似体験をする喜びを味わう
- 3月 雛祭り（世代間交流） * 伝統行事を楽しむ
 お別れ遠足 * 同年齢、異年齢の友だちとのかかわりを楽しむ
 交通安全教室 * 交通安全への意識を高める
 お別れ会 * 異年齢とのかかわりの中で、進級、入学への期待を高める。
 卒園式 * 保育園での生活を振り返り、喜びを感じる。